

ひとなる

発行：白川町教育委員会

－「白川を愛し、たくましく心の

あったかい子を育む美濃白川」－

創りあげた誇りを発信!!



1月17日(金)、黒川中学校では半日入学が行われました。この会では4月に入学する黒川小学校6年生14人に対して、黒川中学校の1年生が学校生活について説明をしました。1年生は、準備の段階において「安心して入学してもらうためには、何を伝えればよいのだろうか？」取り上げる内容や伝える言葉を考えながら準備をしました。その際、考えるもとなったのは、自分たちのこれまでの経験でした。具体的には、「自分たちが乗り越えてきたこと」「挑戦してきたこと」等です。これらをふまえて、今年1年の自分の誇り、仲間と創りあげた誇りを堂々と発信しました。そして最後には「困ったことがあったら相談してください。私が教えます！」と力強く宣言をしていました。あと、少しで2年生です。頼もしい先輩になるに違いありません。



R7に向けて 教育委員会も動き出す!!

R7年度の教育委員会の取組として、英語の語学力向上、コミュニケーション能力の向上、多文化共生の理解促進等を目的とした、英語教育推進事業を実施します。英会話においてAIを活用したり、外国の児童生徒とオンラインで交流したりしていくことを計画しています。(写真は R7.2.12 に行われた白川中での体験の様子です)

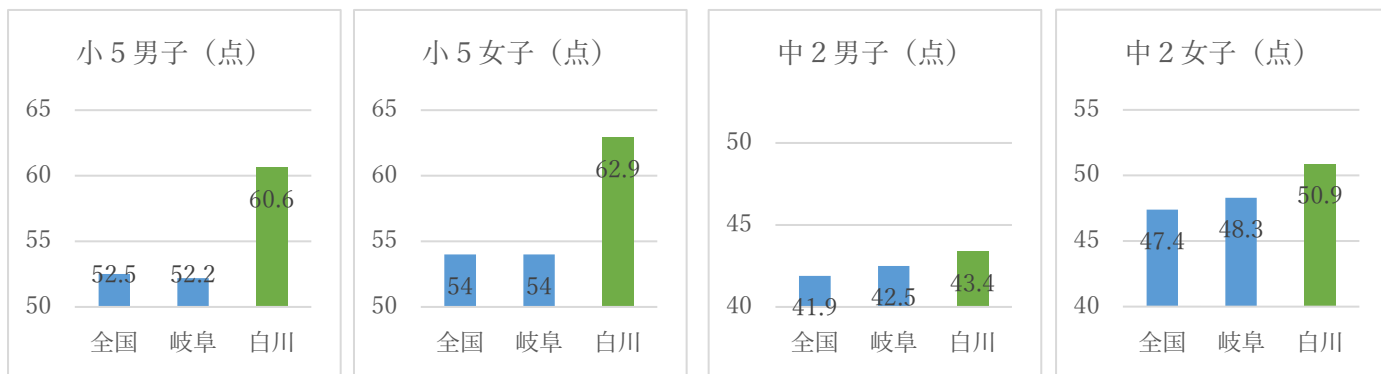
3月の子どもたちの主な行事

- | | |
|--|------------------|
| 3月 7日 (金) 中学校卒業式 | 3月25日 (火) 小学校卒業式 |
| 3月26日 (水) 小中学校修了式 保育園卒園式 (白保・白北保・佐見保・黒川保・光の子保) | |
| 3月27日 (木) 保育園卒園式 (蘇原保) | |

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果より

令和6年4月～7月にかけて、小学校5年生と中学校2年生を対象に実施された「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果が12月末に公開されました。調査は50m、シャトルラン、立位体前屈等の実技と、児童生徒の運動や生活、学習の仕方等に関する質問紙調査でした。本年度の町全体の結果は、小学校では県・全国平均と比べて「極めて高い」、中学校では「やや高い」という状況でした。以下に、全国や県の調査結果と比較しながら白川町の子どもたちについて分析します。

【体力合計点】



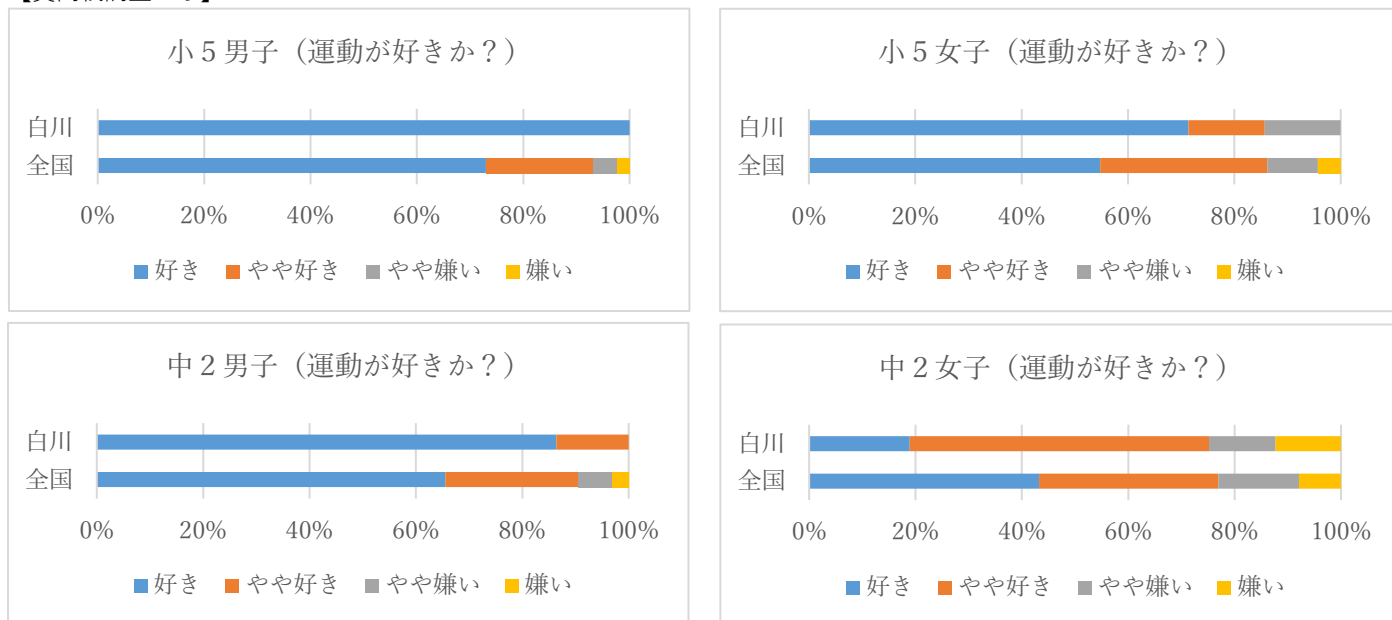
※点数が1点違うと50m走では0.2～0.3秒程度、シャトルランでは10回程度、立幅とびでは10cm程度変わってきます

【実技の平均値】 全国平均を上回っている種目は斜体太字

	握力 (kg)	上体おこし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	シャトルラン (回)	50m 走 (秒)	立幅とび (cm)	ボール投げ (m)
小5男子	17.43	22.43	38.50	47.86	58.86	9.11	159.50	27.14
小5女子	14.57	19.43	43.29	46.57	57.14	9.40	159.86	19.14
中2男子	32.14	28.55	41.59	54.95	80.95	8.06	200.36	20.86
中2女子	24.69	24.94	42.38	45.75	59.47	9.01	170.63	14.31

※あえて、弱い部分をいうなら、中学生では柔軟性、小中学生ともにすばやさ、力強さに弱さがあります。

【質問紙調査から】



※概ね運動好きが多いことが伺えます。運動好きであることは、運動能力を高めることにつながります。

これ以外のアンケート調査における概要を下記に述べます。

- 小学生は男女とも朝食を毎日食べている児童が100%。▲中学生は男子63.6% (全国81.6%)、女子75.0% (全国74.4%) でした。
- ▲平日の学習以外のメディア (テレビ、スマホ、パソコン等) 利用時間において、2時間以上利用している小学生は男子64.3% (全国64.8%)、女子57.2% (全国58.4%)、中学生は男子77.2% (全国76.5%)、女子60.0% (全国75.3%) でした。特に、5時間以上の利用が小学生男子で14.3% (全国18.7%) 中学生男子で22.7% (全国17.6%) でした。
- ※規則正しい生活習慣は、健康な体づくりはもちろん、学習面や運動面によい影響を及ぼします。小学生の極めて高い運動能力は、朝食をきちんと食べていることが影響していることもその1つの理由かもしれません。逆に、小中学生共に、メディアの利用については、視力の低下や他の活動時間の減少等、学習面や運動面以外にも大きな影響を与えます。活用すれば大変有効なものですが、利用の仕方によっては悪影響になります。子どもだけでなく、私たちも大いに気を付けたいものです。